

# 寿楽つうしん

平成27年1月号

平成27年1月発行

発行 老人福祉センター菊名寿楽荘  
発行責任者 富田 公道  
横浜市港北区菊名3-10-20  
TEL 045(433)1255

わが君は千代に八千代にさざれ石の  
いはほとなりて苔のむすまで 詠み人知らず

## 新年のご挨拶

菊名寿楽荘所長 富田公道



新年明けましておめでとうございます。  
菊名寿楽荘に参りましてから、早いもので4回目のお正月を迎えました。

この間、利用者の皆様に如何に気持ちよくご利用いただくか？  
ということ念頭に運営を心掛けてまいりました。

「誰でもが居心地良い」ためには、利用者同士「お互いがお互いの立場で思いやる」ことが大切です。

そしてそれができずに秩序が乱れてきたときには管理者として「駄目なものはダメ。良いものは良い。」とはっきりと言って、誰でもが居心地良い良い施設にしたいと思っています。館内秩序を守るためにも今後も「是々非々」で運営をしてまいりますのでよろしく願いいたします。

さて今年は一ひつじ年です。

ヒツジはウシ目ウシ科ヤギ亜科の動物で、草だけを食べて生育します。(ヤギは木の芽や皮も食します。)温厚な正確で群れを成して生活することから「家族の安泰を示し平和に暮らすことを意味する」とされます。

ひつじ年の人は、穏やかで人情に厚く親切、そして従順で温和、争いごとを嫌い人間関係は至って良好なのだそう。そういえば昨年は、人を欺くような出来事や人の尊厳を無視するような非道な事件が多かったように思います。

今年皆様にとって、ヒツジのように温和で争いごとの無い、平和で家族安泰な1年でありますようお祈り申し上げます。



## 今月の和歌の解説

【通釈】我らの主君は、千年にも八千年にも——細かい石が集まって大岩となり、苔が生えるようになるまで、それほど永い永い歳月にわたってお元気でいて下さい。(古今343)

【補記】言うまでもなく、日本の国歌の「君が代」のオリジナル・バージョンとして有名な歌である。その作者が「詠み人知らず」である点は興味深い。歌曲としての国歌「君が代」は「巖となりて」が「岩音鳴りて」と聞こえてしまうのであまり優れたものとは言えないような気がするが、それも一つの味であろう。

言葉のかたまりとしては、「わが君」で一、「千代に八千代に」で二、「さざれ石—巖—苔がむす」で三つというかたちになっている。それを先頭を「君が代」とすれば、「君が代—千代—八千代」／「さざれ石—巖—苔がむす」と三対三でバランスがとれるので、「代(世)」つながりということもあり、移行していったものかもしれない。

また、「古今和歌集全評釈(中)」によれば、元永本などの伝本では二句目が「ちよにましませ」となっているそうである。

◇わが君 私主人。元来は相手に対し親しみを籠めて呼ぶ言い方であるが、古今集の賀歌巻頭歌としては、この「君」は先ず醍醐天皇を指すと考えるべきであろう。◇さざれ石 細かい石。小石が集まり、長い時間をかけて固結し、大岩となるものがある。

## 正月の習慣

正月には前年お世話になった人や知人などに年賀状を送る習慣があり、お年玉つき年賀はがきの抽選日までを正月とする習慣も多いようです。元来は年の初めに「お年始」として家に挨拶に行ったり人が訪ねて来たりするはずのものが簡素化されたものとも言えるでしょう。1990年代末頃から携帯電話が普及したこともあり、年賀状でなくメールなどで済まされることが多くなってきています。また、新年最初に会った人とは、「あけましておめでとう(ございます)」という挨拶が交わされる場合が多いようですが、これは、英語圏の「ハッピー・ニュー・イヤー(Happy New Year)」が主に年末に言われるのとは異なり、新年になってからでなければなりません。年末に、来年になるまで会わないだろう人とは、「よいお年を」という挨拶がよく交わされます。





# 1月のスケジュール



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				休館日	休館日	休館日
4	5	6	7	8	9	10
休館日	はじめての太極拳		チェアエクササイズ	歌声教室	初心者健康麻雀	日本歴史講座
11	12	13	14	15	16	17
卓球開放	新春初笑い落語		初心者ウクレレ健康相談	横浜郷土史	初心者英会話 初心者水彩画	実用書道
18	19	20	21	22	23	24
卓球開放	はじめての太極拳		チェアエクササイズ 栄養相談	歌声教室	初心者健康麻雀	日本歴史講座
25	26	27	28	29	30	31
卓球開放		休館日	初心者ウクレレ健康相談	横浜郷土史 元気いっぱい ためため講座	初心者英会話 初心者水彩画	実用書道

## 新春初笑い

今年の初笑い落語会開催!

日時：1月12日(月)10:30～  
 場所：菊名寿楽荘3階大広間  
 出演：かながわ楽笑会の方々



## 書き初め

書き初め(かきぞめ)とは、年が明けて初めて毛筆で書や絵をかく行事。通常は1月2日に行われます。吉書(きつしょ)、試筆(しひつ)、初硯(はつすずり)などもあります。若水で墨を摺り、恵方に向かって詩歌を書く習慣がありました。書く詩歌は「長生殿裏春秋富、不老門前日月遅」という漢詩がよく用いられました。もともとは宮中で行われていた儀式でしたが、江戸時代以降庶民にも広まりました。書き初めで書いたものは左義長で燃やし、その炎が高く上がると字が上達すると言われています。



## 元気いっぱい(貯め)講座開催

趣旨 高齢者が身の安全と財産を守るための、そして元気で安全に暮らすための「ためになる」を貯める講座

実施場所 菊名寿楽荘プレイルーム  
 募集人数 20名(希望者多数の場合は抽選)  
 受講料 無料  
 実施回数 4回(1/29、2/5、2/12、2/19)  
 実施内容

- 1月29日(木)10:00～12:00  
悪質商法の被害にあわないために
  - 2月5日(木)10:00～12:00  
その時あわてないために  
(介護保険の知識)
  - 2月12日(木)10:00～12:00  
振込め詐欺にあわないために
  - 2月19日(木)10:00～12:00  
知って得する「相続の知識」と相談
- \*各講座にそれぞれ体操実技があります。



## 一病息災

持病が一つくらいある方が無病の人よりも健康に注意し、かえって長生きであるということ

**幸せのヒント「健康の幸せ」** 健康は、人間の幸せの中で、大きいものの一つです。健康だから得られる幸せもたくさんあります。でも、健康の幸せを感じられる人は少ないでしょう。健康にあまり注意しないで生活している人もたくさんいます。健康の大切さは、失ってみてはじめて、その大きさに気づく人が多いようです。健康状態は人それぞれに違いますが、自分も持っている健康を大切に、自分も持っている健康を活かして、幸せに暮らすことができれば、と思います。そのためには、いつでも気軽に相談できるかかりつけのお医者さんを持つようにした方が安心ですね。でも、こんなお医者さんなら考えちゃいますね! ?  
 もうすぐ手術をうけることになっている患者が必死になって車椅子でホールにやってきました。婦長が彼を止め、尋ねました。「どうしたんですか?」「今、看護婦さんが言ったんです。「簡単な手術だから心配ないですよ。きつとうまくいきますわ」って」「あなたを安心させようとしたんでしょ。何をそんなに怖がってるの?」「看護婦さんは私に言ったんじゃないんです。主治医にそう言ったんです。」

[編集後記]

